

DAY 1 ◎ 7月11日 (土) 開場 13:00

プログラムⅠ・プログラムⅡ



© 株式会社 OFFICE TETSU SHIRATORI

プログラムⅠ (13:30~15:15) 映画『魂の教育』上映 (白鳥哲監督作品)

魂の文明の時代が来るであろう…。右脳教育、児童教育の第一人者として世界中から注目されている、故七田眞氏を追った初のドキュメンタリー作品。

講演会やインタビュー、七田チャイルドアカデミーの生徒や卒業生へのインタビュー、実際の教室での授業の様子、子供を教室に通わせている保護者へのインタビュー、イメージ映像などを通して、彼の教育理念に迫っていく。

- ・今の時代の中で暗夜の道を照らす灯火のように貴重で有意義な作品だと思います。この映画自体が持つ力と時代の要請によって広く世界で、受け入れられ新しい福音ともなっていくと確信いたします (40代 男性 塾経営)
- ・はじめから涙・・・でした。
- ・真我との約束、己の魂との約束を思い出していたからです (40代 女性)
- ・大人が変われば子供も変わっていき、先生が変われば学校も、社会も、政治も、全人類も変わっていくことでしょう (30代 女性 主婦)

~ office TETSU SHIRATORI HP より抜粋

15:15~15:25 休憩 (10分)

15:25~16:10

「七田式教育と魂の教育」

神尾 学 ホリスティックスペース=アクリアス主宰



16:10~17:00 ダイアログ

白鳥 哲 × 神尾 学 × 福田 カレン (『魂の医療』企画者)



白鳥 哲



神尾 学



福田 カレン

プログラムⅡ (18:00~20:45)

「シュタイナーとケイシーが唱えた“魂”観とは...」

18:00~18:50

「シュタイナー／アントロポゾフィー (人智学) の“魂”観」

山本 忍 神之本クリニック院長



18:50~19:40

「エドガー・ケイシーのリーディングからみる“魂”観」

光田 秀 日本エドガーケイシーセンター理事長



19:40~19:50 休憩 (10分)

19:50~20:45 ダイアログ

山本 忍 × 光田 秀 × 福田カレン



山本 忍



光田 秀



福田 カレン

DAY 2 ◎ 7月12日 (日) 開場 12:45

プログラムⅢ

プログラムⅢ (13:15~16:45)

「エネルギー医療」と「魂の医療」シリーズ

13:15~14:05 講演①

「ホメオパシーと音響療法 ~波動は音であり、光である」

秋山 佳胤 弁護士・医学博士



ホメオパシーは、物質のバイブレーションを水に転写するという、「情報記憶」の働きを利用したエネルギー医療です。食事という物質のエネルギーに頼らずに生命を保っている秋山氏の目からは、人間の身体や病気、そしてホメオパシーと音響療法の効能はどのように見えているのでしょうか。

14:05~14:55 講演②

「量子場とつながるエネルギーシステム ~テクノロジーの発達と人間の進化」

寺岡 里紗 インフォセラピスト、エネルギー医学インスティテュート主宰



エネルギーを扱う療法はたくさんありますが、エネルギーには階層があり、スピリチュアルなレベルまで扱うには、「エネルギー」のレベルを超えて「情報」のレベルまで視野に入れる必要があります。「エネルギーシステム」について、深い見識をお持ちの寺岡氏の本質的なアプローチを学びます。

14:55~15:05 休憩 (10分)

15:05~15:55 講演③

「エネルギー医学の新しい科学 ~水と意識から見てくるエネルギー医学」

根本 泰行 理学博士、オフィス・マサル・エモト顧問



永遠の生命という視点から見れば、肉体よりも、目に見えない波動や意志・意図の方がよほど重要です。その視点に立った「エネルギー医学」の重要なファクターとして「意識・超意識」と「水」があります。科学者である根本氏は、エネルギー医学の最先端の研究をわかりやすく説明して下さいます。

15:55~16:45 ダイアログ

秋山 佳胤 × 寺岡 里紗 × 根本 泰行 × 福田 カレン

(『魂の医療』企画者)



秋山 佳胤



寺岡 里紗



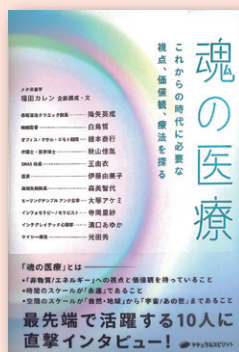
根本 泰行



福田 カレン

進行：降矢英成

(日本ホリスティック医学協会
エネルギー医学研究会代表世話人)



お問合せ

NPO 法人日本ホリスティック医学協会
関東フォーラム事務局

ho-kanto@tg.rim.or.jp